

請 願 文 書 表	
受理年月日 及び番号	令和6年9月2日 第24号
件 名	区内全学校施設の普通教室における夏場の就学環境 の確認及び改善を求める請願
請 願 者	 文京区ゼロエミッションを実現する会 菅 谷 幸 子 外1名
紹 介 議 員	ほかり 吉 紀 石 沢 のりゆき 浅 田 保 雄 依 田 翼 たかはま なおき
請願の要旨	次 頁 の と お り
付託委員会	文 教 委 員 会

請願理由

近年、地球温暖化が深刻化し、今年も「観測史上最も暑い夏」が更新されております。暑さ対策として区立学校の全ての普通教室にエアコン冷房を設置頂いておりますが、冷房の利きが悪い教室がある状況です。

この度、本郷小学校の全館冷房の効きが悪いことについて学務課にご相談したところ、冷温水発生装置3台のうち1台が能力低下していることが直後の定期点検で確認され、該当の1台は夏休み中に修理頂けることになりました。早急なご対応に心から感謝いたします。

しかしながら、冷房設備は機能しているにも関わらず、十分な冷房効果が得られない場合もあります。文部科学省による校舎建屋の断熱の基準ができたのが1980年、現行基準は1999年からの施行となっており、古い学校はほぼ無断熱となっているのが実情です。

文部科学省の「学校環境衛生基準」では、健康を保護し、快適に学習するための教室の環境温度は17℃以上、28℃以下であることが望ましく、最も望ましい温度は、夏期では25℃～26℃とされています。また、環境省・文部科学省が今年4月にまとめた「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和6年4月 追補版）」に記載の熱中症事故等事例によれば帰宅途中での死亡事故も発生しており、教室内で体を十分冷やして下校する対策が有効とされております。

文京区では、築30年以上経過している16校の特別教室の空調の入れ替えと最上階の断熱化を行う改修工事を進めていますが、この度、普通教室についても断熱のない最上階教室全18校98教室の改修工事を新たに検討頂き、予算確保に動いて下さっております。先ずは本予算確保に区議会としても是非後押し頂きたくお願いいたします。単年度での予算確保が難しい場合は、ESCO事業を活用することで早期対応が実現可能かご検討頂きたくお願いいたします。

また、上記改修対象となっていない他教室についても各学校施設にヒアリングを行うと共に、温度測定による学校環境衛生基準に即した環境であることの確認をお願いいたします。（新校舎が竣工したばかりの誠之小学校でもガラス張り箇所には西日が当たり、夏期は校内が高温になるとの情報もあります。）不適な温度環境の教室については冷房設備の能力確認と改善、遮熱カーテンや冷風機の設置等の緊急措置を行って頂きたくお願いいたします。

現在の学校施設では熱中症のリスクを排除しきれない状況があり、子どもたちの命に関わる問題となっております。耐え難い暑さに苦しんでいる子どもたちのために、今年の残暑、来年の猛暑到来への応急対策を進めて頂きたくお願いいたします。

請願事項

区内全学校施設の普通教室における夏場の就学環境の確認及び改善を区議会から区に求めて下さい。

- 1 各校普通教室の現状把握と冷房設備の能力等の更なる改善
- 2 空調の入れ替えおよび断熱化が必要な教室の改修工事費用の予算確保